

**第2回 まちづくり推進隊詫間 まちの魅力発掘コンテスト
応募書類**

応募者名	前山由美子	団体の場合 担当者名	
住所	〒		
電話番号			
メールアドレス			
作品名	※内容が伝わりやすい言葉で簡潔に しゅり インジョイ田舎暮らし		

1. あなたが提案する詫間町の魅力と地域資源

詫間町のどのようなところに魅力を感じるのか、できるだけ具体的に理由を添えて記載してください。

※各記入欄は拡張可

荘内半島の景観は昔からの自然をそのまま残した絶景である。潮方内側川の下つた海、朝日が染る早朝の景色は如何に空気が夏のほき声、木々の香りを感ずる。燈灘側の夕陽は絶景、夕陽の色が海を染めキラキラ輝く様子は、他国新の国の夕陽を思わせ、あつり間に陽が沈み日暮なる。夜は薄暗にはるので星の美しさを都会では味わうことができない日本の原風景。春は気象林の桜には、小豆マサト等の花が美しく咲く、山の緑と海の青、色とりどりの花が咲く自然の美しい水郷郷。

2. 魅力の活用プラン

あなたが感じるまちの魅力を、どのように活用すれば詫間町の活性化につながるのかを記載してください。

荘内半島にある空家を利用して、県内外の人に田舎を築んでも住めるシェアハウスを作る。ここでは、日頃の喧騒を忘れてただただゆくりと過ごして頂く。田舎がない都会の人にもおほあおほの家に帰ってきたよな、ほかに味わえる何もないという贅沢を提供。希望者には農作業、釣り、サーカス等の海遊が、紫雲山、栗島、志々島、浦島太郎伝説等々の案内もできるプランを作る。JRからコンニチーバスを利用して途中、海田のたかだけゆくり宿場を、次の駅で来ることもできる。提供店と契約してシェアハウスを利用される方には、必要なお客を届けることも可能にして、利用客の手取りをあげるプランを作る。観光で来た人が荘内半島の奥ゆかりに、おかしな移住する為の照屋さんの呼びかけ、活性化に貢献する希望は下さい。金事も自炊もできる。提供店に届けてもらう。地域のお料理好きは、おほおほに帰る等。ここでは、おほおほに帰る等。ここでは、おほおほに帰る等。

荘内半島に住む者として協力できることはさせていただきます。